

【環境家計簿システムの活用方法】

CO₂排出量を削減することは、経費削減にもつながります。

CO₂排出量の削減の取組を推進する方法として、**P D C A サイクル**を取り入れると良いでしょう。まず、環境家計簿システムで現状を把握し、**目標や計画 (P l a n)**を立て、それに基づいて**実行 (D o)**し、計画と実績との差などを**評価 (C h e c k)**し、ミスやトラブルなどがあれば**改善 (A c t)**し、その結果を引き続き次の計画につなげていくプロセスのことです。

実際のところ、目標と計画は現状を把握しながら、ひとまず取組を進めてみた後で、その結果を把握してからのほうが、立てやすい場合もあります。

● 具体的な進め方としては…、

<現状把握>

- ① 環境家計簿システムで現状を把握する。
- ② 職場で環境について話し合う。
- ③ 職場でのムダを調べてみる。

<P l a n (目標・計画) >

- ④ 目標や計画を立ててみる

<D o (実行) >

- ⑤ それぞれの取組についての担当者を決めてみる。

<C h e c k (評価) >

- ⑥ 環境家計簿システムで定期的にチェックしてみる。

<A c t (改善) >

- ⑦ 次の目標と計画に反映させる。

などが考えられます。

● 環境家計簿システムの特徴

- ・ 貴事業場のCO₂排出量の月別推移グラフ
所属振興会ごと、所属ブロック（運輸局）ごと、全国の業態、整備要員数規模別の月別のグラフが表示され、推移が一目でわかります。
- ・ 事業場のCO₂排出量のランキング
所属振興会ごと、所属ブロック（運輸局）ごと、全国の業態、整備要員数規模別のランキングが表示されます。同じ業態、規模の事業場と排出量の比較ができます。
- ・ CO₂排出量調査結果の概要
ご協力いただいた調査の集計結果から試算した自動車整備業界のCO₂総排出量をご報告いたします。
- ・ 「地球温暖化防止実践マニュアル」の閲覧
日々の業務の中でCO₂排出量削減につながる実践マニュアルの閲覧ができます。